

## 11 高次脳機能障害に対する家族のわかり方とそのプロセス

病院 看護部 3階病棟 百々幸子 高橋美枝子  
5階病棟 岩寄佑希恵

はじめに

高次脳機能障害の障害特性は、身体的障害よりも記憶・注意・遂行機能・社会的行動などの認知機能障害であり、外見から見えないという点でなかなか理解されにくい。また、これらの障害は実際の生活環境の中で行動した体験から明らかになっていくことが多い。高次脳機能障害患者が安定した生活環境の中で生活を築く為には、生活を共にする家族の協力が必要であり、家族が生活活動上の困難を理解し、現状を受けとめて患者に合った関わり方を習得することが大切である。

そこで、看護師が家族に有効な支援を行なう為には、家族が高次脳機能障害をどのようにわかっていくのかを知る必要があると考えた。今回、家族から直接話を聞くことにより、家族が患者の高次脳機能障害の症状に対して「直感的に気づき、納得し、なるほどと思うわかり方」をして行くプロセスについてまとめたのでここに報告する。

<用語の定義>

「わかる」とは、知識だけでなく体験を通して納得する・合点がゆく・腑におちる、という感覚である。

### I. 研究方法

対象: 当院 3階病棟に入院した高次脳機能障害と診断された患者の家族  
患者は高次脳機能障害を有し、FIMの認知機能 25点以下、BI が 80~100点。

期間: 平成 17年 7月から 9月

方法: 対象者に看護師が1回 30分程度インタビューを行った。入院時・入院から2週間後・4週間後の3回インタビューを行い、発症からインタビュー時までの患者の変化について気づいた場面や時期、対応や経過について語ってもらった。語りの内容から類似性に従いカテゴリー化し、得られたデータを分析した。

倫理的配慮: 対象者へ、本研究の目的・方法・意思変更の自由・調査以外の目的で使用することはない事を文書で説明し、同意を得て、匿名化とした。

### II. 結果

インタビューを実際に行えた対象は 6例であったが有効なインタビューを 3回実施できたのは 3例であった。

対象者の背景 (表1参照) プロセス (表2参照)

語りの内容から類似性に従い【急性期の気づきと混乱】【高次脳機能障害の症状に関する気づき】【患者との関わり方】【現実的な生活上の問題と今後の不安】【様々な感情】 5項目にカテゴリー化し、得られたデータを分析した。5つのカテゴリーから【様々な感情】を除き、4つのカテゴリーを家族の理解の様相から分析しわかり方の過程を3つに分類した。

まとめ

1. 高次脳機能障害に対する家族のわかり方は 3つの過程に分類された。  
《漠然とした初期の過程》《具体的に見えてくる過程》《対応していく過程》
2. わかり方の要因として、家族構成と病前からの関係、家族の高次脳機能障害についての知識の有無が影響する。
3. わかり方の過程は同じだが患者の障害特性に合った家族の対応ができるよう支援していく事が重要である。

表1 対象者の背景

対象者	性別	患者との続柄	面会日	外泊	患者	病名	前医からの説明(高次脳機能障害について)	家族構成
A氏 50歳代 会社員	女	妻	外泊時	毎週末	男 50歳代 会社員	くも膜下出血	説明を受けていない	妻と患者 長男と長女 4人暮らし
B氏 70歳代 無職	女	母	毎日	なし	男 40歳代 会社員	外傷性脳損傷	詳しい説明を受けている	患者は一人暮らし 両親は2人暮らし
C氏 40歳代 パート	女	母	外泊時	毎週末	男 30歳代 会社員	外傷性脳損傷	説明を受けていない	両親と患者 弟と妹と5人暮らし

表2 プロセス

わかり方	様相	対象	家族の語り		
<p>漠然とした初期の過程 「何か変」</p> <p>具体的に見えてくる過程 「どうもここが変」</p> <p>対応していく過程</p>	<p>急性期の 気づきと混乱</p>	<p>A 「〇〇レンジャー」がいるとか言って、麻酔が覚めれば、管が抜ければ、直るんだろうと思っていました。急性期からおかしな事言ってたんでどこからが急性期の症状と違うのかよくわかりません。</p>	<p>C 絶えず拳銃のごとく喋りっ放しで払いのけて外に出ようとしてたりお父さんと私には暴力的で反抗的で「やっぱり前の損傷だからなのかな」と思ったんです。先生から「頭の前のほうだと暴力的になったり性格が変わったりします」と言われてたから「そうなのかな」とすごく悩んで暴力的になって病院に来るのが怖かったです。でも他の人から治った人の話なんかを聞いてきて家族でともかく励ましあったんです。</p>		
	<p>高次脳機能障害の 症状に関する気づき</p>	<p>B 前の病院では車椅子の使用、面会者がいない時は抑制され、トイレも個室についていたし、ご飯もベッド上であったので、場所が分からないなどの点に気づくことはなかった</p>	<p>A 月日や名前は分からなくて子供のことはもちろん私のことも分からなかったです。でも子供の名前は言えるのが子供が前にいても分からなかったです。落ち着きがないし集中力がありません。すぐ忘れてしまうし。</p>	<p>A スケジュールのノートもいまだに使えてないし、チェックしなかったり、全部チェックしたり、他のところチェックしたりしてるんですけど、忘れていないとかそんなことしていないとか言うんです</p>	
		<p>B 以前より怒りっぽくなったと感じた。以前前の病院で説明された前頭葉の症状であると思った。話した事自体を忘れて何度も話しているというよりは、固執をしているように感じた。</p>	<p>C 外泊しても電気の場所が分からないし、携帯のやり方も分からないし、Tシャツ持って「これ何？」って聴いてきたりして。お風呂でもシャンプーが分からなくて頭洗わなかったりした。電車で初めて帰ったとき、駅でイライラして壁を叩いたり、ラッシュで吐き気がして立って帰った。落ち着くと話せるようになるんです。</p>	<p>C 混んでいる電車で人がぶつかってきたりするとイライラしているのがわかりますね。でも拳をぐっと握り締めて我慢していました。電車に乗るときに、どの電車に乗るか説明しても前だったら分からなかったのに、最近では分かるようになりました。 昨年の暮れと正月くらいから後の事を覚えていない事があるみたいです。外泊して普通に喋っていると、今までどおり変わらないじゃんって思う事があるし、他の人にもそう言われます。</p>	
		<p>患者との 関わり方</p>	<p>A 期待して迎えにきたんですけどあんまり変わらなくてちょっとがっかりしました。紙おむつをしている事の自覚がない(なんとも感じていない事) 体がだめだなって思います。</p>	<p>A 口うるさいのだけが本人には残るみたいで、家族のほうで接し方が変わってきたのかな。言われるままに反応しなかったときより、反抗する分手がかかるようになったって感じます。回復の過程なのかもしれないけれど毎週2日間だけなのに、わかってはいるつもりでも錯覚して腹が立ってしまいます。余裕のあるときは受け流せるんです</p>	<p>B 私と二人で歩くときにエレベーター操作をするようにみたり、場所を覚えているかどうか院内を歩くときに少し私の方が後ろを歩くようにしてみようと思う。</p>
			<p>C あんまり色々言われるのは嫌だと思うので、ちょっと会話をした時に、これは何？とかこの漢字読める？とか何気なく聞くようにしてるんですよ。あーあつてるじゃんとかそんな感じだね。あまり言われると本人のストレスになると思うので。</p>	<p>A 参加してみて、学習会(高次脳)をしなきゃいけない病気なんだなあ、それくらいみんなが知らない病気なんだなって思いました。自分なりに納得しているときと逃げたいと思ったり、放り出したくなるときがあります。病気だと思っていないことが不安です。</p>	
			<p>C 電車に乗っていて、他の人から見られているなと感じられた。「ここどこ」とか「次どこ」とかいろいろ聞いて言うんですよ。昔電車でそんな人たちを見たなあ、おんなじだと思って、でも見られたって普通にしていれようってことないんだなと思えたんです。</p>	<p>現実的な生活上の 問題と今後の不安</p>	
			<p>A 子供たちのこれからの生活を脅かしてはいけなくなって思っています。どっちが大事って将来のある子供たちのことが心配です。主人、体は元気、食欲はあるしまだこの年ですからこれから先どうしたらいいんだらうっておもいます。いっそのことまだ車いすでも頭がもう少しはっきりしてればなんて思っています。入院した頃車いすだった方が歩いてらっしゃったり回復されているのが眼に見えてわかるんですけどどうやらましいなと思います。主人は状態としては変化してないんですよ。</p>		
	<p>B 前院退院後は本当は連れて帰りたいかったが、高次脳機能障害は身体のリハビリとは異なって、専門の病院で見てもらった方がよいと説明を受けた。まだ若いし、この子に出来る事の最善を尽くしてあげたいので、マンションを借りて、今後この近辺に通院できる様になっても良い様に備えている。</p>				
	<p>B 土日は外泊させてあげたいが、ワンルームマンションは暑いし本人の負担にしかならない。今の本人の体力では、私が連れて歩くにはまだ負担が大きいので、涼しくなってから色々動くようにしたい。</p>				
	<p>B 相手が他人になるとどうなるか、そこが分かりません。(自分の意にそぐわないと怒る事に対して)今は親子の関わり、付き合いしかないし、せいぜい親戚でしょ、会社の人など、接する人が変わって見るとどうなのか？病院の外へ出たときにどうなのか。協調性が出てくるか、分かりません。</p>				

